

学会からのお知らせ

2023年 第1号
通号 237号

日本社会教育学会
<https://www.jssace.jp/>

2023年度 六月集会のご案内

会場校から

長岡智寿子 (田園調布学園大学)

2023年度の六月集会は6月3日(土)、4日(日)の日程で、田園調布学園大学にて対面で開催する。新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる各種研究活動が、もはや、主流となっているような状況にあるが、できるだけ活発な研究交流を行っていただきたいという想いから、3年ぶりに対面で行うことと決定した。しかし、未だ感染再拡大の懸念もあることから、プログラムはプロジェクト研究、会場校企画、ラウンドテーブルのみとし、参加申込者へのオプションサービスとして、オンライン参加も可能とすることで対応させていただく。

さて、田園調布学園大学は大学名とは異なり、神奈川県川崎市東百合丘に位置する。保育・福祉・心理の領域を中心に3学部4学科から構成され、ようやく20周年を迎えたばかりである。建学の精神である「捨我精進」は、調布女学校初代校長、川村理助により作られた言葉であり、知識の修得だけではなく、心身の調和と鍛錬を目指す人材を養成していきたいという本学の教育方針の礎となっている。2019年に新設された人間科学部では社会教育主事養成課程も設置され、この3月の卒業生には、本学として初めて「社会教育士(養

成課程)」の称号を授与することができた。地域に開かれた大学として地域社会の課題を共に考えてくこと、そして、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の創造に向けて、まさに、社会教育の可能性が試されているものとする。

本学へのアクセス面については決して快適ではないものの、充実した研究集会になるように会場校企画も準備している。多くの会員の皆様をお迎えできれば幸いである。

【2023年度日本社会教育学会 六月集会】

・日 時：6月3日(土) 13:00～17:45
6月4日(日) 10:00～16:00
※受付は各日、開始30分前から

・会 場：田園調布学園大学
<https://www.dcu.ac.jp/access/index.html>
・参加費：一律1500円(大学院生・大学生
無料：学生証添付の上、申込みのこと)

※必ず事前にお申し込みください。(「学会からのお知らせ」今号の「お知らせ・募集(六月集会について)」もあわせてご参照ください。)

※詳細は別途プログラムをご覧ください。

【目次】

2023年度 六月集会のご案内 会場校から	1
各地の研究集会のご案内	2
理事会だより/事務局だより	3
寄贈図書一覧	6
会員動向/お知らせ・募集	7

各地の研究集会のご案内

※詳細については、学会HP掲載のプログラムをご参照ください。

【第47回 東北・北海道研究集会】

- ・日時：5月27日（土）13:00～17:00
5月28日（日）10:00～15:00
- ・テーマ：「地域再生への教育計画（その4）」
- ・会場：北海道大学
人文・社会科学総合教育研究棟

【東海・北陸地区社会教育研究集会】

- ・日時：6月10日（土）13:00～16:00
- ・テーマ：「子ども・若者の学びと社会教育施設の役割—名古屋市の実践から—」
- ・会場：ハイブリッド開催予定
（名古屋大学教育学部講義棟2階大講義室、及びオンライン配信）※事前申し込み6月2日（金）〆切

【第47回 関西研究集会】

- ・日時：7月1日（土）10:30～16:30
- ・テーマ：「現場とともに交流と対話の方法をさぐる（2）—地域学校協働活動が期待する社会教育実践とは？—」
- ・会場：大阪教育大学天王寺キャンパス西館
※事前申し込み6/28（水）〆切

【第23回 中国・四国地区 社会教育研究集会】

- ・日時：6月24日（土）13:15～16:30
- ・テーマ：「社会教育と地域協働（その2）」
- ・会場：香美市立図書館かみーる（対面・オンライン併用）
※オンライン参加は申込み6/19（月）〆切

【九州・沖縄地区六月集会】

- ・日時：6月24日（土）13:00～16:00
- ・テーマ：「地方農村における外国人の労働・生活と社会教育」
- ・会場：オンライン開催
※申込み（先着100名）6/20〆切

理事会だより

● 2023年度 第2回常任理事会

(2022年11月21日: Zoomによるオンライン開催)

出席: 常任理事17名、全国理事1名、幹事1名、事務局次長2名、事務局員1名

1. 審議事項

- (1) 2023年度第1回常任理事会議事録が承認された。
- (2) 退会者・入会者ともに、なし。
- (3) 2023年度スケジュールが承認された。
- (4) 各担当経費が承認された。
- (5) 特別プロジェクトについて、進める体制などの提案があり、承認された。
- (6) 幹事について、公募の継続と決定方法などの提案があり、承認された。
- (7) 新ジャーナル特集の編集について、常任理事・全国理事の体制を検討することが承認された。編集委員の体制や編集規程の改正について、今後詰めて審議することが確認された。
- (8) 各担当

①研究

- ・新プロジェクト研究「多文化・多民族共生社会を目指す社会教育の挑戦」のメンバーの提案があり、承認された。
- ・オンライン・ロハ台の開催について報告があった。

②ジャーナル

- ・第1回編集委員会の開催について報告があった。
- ・書評・図書紹介について、進捗状況の報告があった。
- ・規程の改訂について、進捗状況の報告があった。
- ・「社会教育学研究の動向」の執筆形態の検討について、執筆者を公募したが、応募がなかったため、今号については論文タイトルの一覧を掲載するという提案があり、承認された。

③年報

- ・年報第67集の編集委員の委嘱について提案があり、承認された。

④通信・広報

- ・「学会からのお知らせ」第1号内容構成の見直しについて提案があり、承認された。

- ・第3号の編集の進捗状況について報告があった。

⑤国際交流

- ・第13回日韓学術交流研究大会(ソウル)開催(2022年10月28~29日)について、報告があった。

⑥組織・財政

- ・事務局移転について、着々と進んでいるとの報告があった。
- ・若手助成の企画を考えているとの報告があった。

⑦倫理委員会

- ・相談が2件あり、手続き中との報告があった。

- (9) その他は特になし。

2. 報告事項

(1) その他

- ・年報第66集『高齢社会と社会教育』の合評会について、お知らせがあった。

● 2023年度 第3回常任理事会

(2022年12月19日: Zoomによるオンライン開催)

出席: 常任理事17名、幹事1名、事務局次長2名、事務局員1名

1. 審議事項

- (1) 2023年度第2回常任理事会議事録について、2か所修正のうえ承認された。
- (2) 1名の退会が報告された。新入会は、なし。
- (3) 2023年度六月集会について提案があり、承認された。
- (4) 各担当

①研究

- ・11月30日に開催した第3回「オンライン・ロハ台一研究で社会教育する」について、報告があった。
- ・プロジェクト研究の進捗状況について、報告があった。
- ・研究担当としての今期の取組を次期理事会・研究担当に引き継げるよう、ミーティングを実施予定との報告があった。

②ジャーナル

- ・「社会教育研究の動向」の執筆形態の検討について、今号は2022年に刊行された論文タイトルの一覧の掲載を担当理事で進めることが提案され、承認された。
- ・書評・図書紹介について、進捗状況の報告があった。
- ・投稿原稿について、進捗状況の報告があった。
- ・その他の原稿について、原稿依頼を行ったとの報告があった。
- ・規程の改定と次期編集委員会のスケジュールについて報告があった。

③年報

- ・日本社会教育学会年報第67集『SDGsと社会教育・生涯学習』（仮題）原稿募集のお知らせについて提案があり、承認された。
- ・11月29日に開催した年報第67集 第1回編集委員会について、報告があった。

④通信・広報

- ・2022年第3号の2校について、進捗状況の報告があった。
- ・ウェブサイトおよび今後の広報活動について、報告があった。

⑤国際交流

- ・日韓学術交流研究大会について、開催校（候補）に打診中との報告があった。
- ・日本ESD学会の国際交流活動に関する意見交換について、団体としての正式な参加可否の回答を

求められ、まずは国際交流委員会で審議するとの報告があった。

- ・2023年度第1回国際交流委員会開催について、1月下旬～2月上旬に開催予定との報告があった。

⑥組織・財政

- ・新企画案として実践者と若手会員向けのオンライン交流会について提案があり、承認された。
- ・会員自主企画助成による研究会の開催について報告があった。
- ・2023年3月26日に開催予定のGEAHSS主催シンポジウム「人文社会科学系学協会・大学におけるジェンダー平等の現状と課題」について、報告があった。

⑦倫理委員会は特になし。

(5) その他は特になし。

2. 報告事項

- (1) 社会教育士特別プロジェクトについて、現在、メンバーをお願いしている段階で、1月の常任理事会でメンバーの提案をし、了承を得てから活動したいとの報告があった。
- (2) 事務局移転について、12月1日からアンティ多摩への事務局住所提供・郵便物管理の委託を開始しているとの報告があった。
- (3) その他は特になし。

以上

事務局だより

◇事務局の住所が変更されています。寄贈図書等は
新住所までお送りください。

新住所：〒189-0012

東京都東村山市萩山町2-6-10-1F

◇『社会教育学研究 59 巻』は 2023 年 6 月頃発行・
一斉送付となります。

◇住所・所属変更は各自 HP の会員サイトにログインして変更してください。その際、所属ブロック・所属分類の変更もお忘れなく（通信に掲載するため所属変更の方は、メールにて事務局宛てご連絡ください）。

※年報・ジャーナルは、ご登録の住所に、東洋館
他各印刷所より宅配業者のメール便にて配送し
ているため、郵便局へ転送届を提出しても転送され
ませんのでご注意ください！

◇現在、事務局は祝祭日除く月・木（10：30～
16：30）テレワーク中。電話受付はしておりませ
んので、問合せ等はメールでの連絡をお願いいた
します。

◇今年 は 2024・25 年度理事選挙の年です。選挙資
格は 2021 年度までの会費を完納している会員に
あります。2021 年度までの会費を納めていない会
員は、5 月 10 日（水）までにお振込みください。

◇会費納入状況は、会員サイトへログインして確認
できますので、学会費を納めていない会員は、下
記へお振込みください。（9 月で年度が替わります
ので 2022.9 から 2023 年度となっています。）

【振込先】ゆうちょ銀行

振替口座 00150-1-87773

加入者名：日本社会教育学会

振込金額：10,000 円／年

他金融機関からの振込用口座番号：

〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）

当座 0087773

寄贈図書一覧

No.	著者	タイトル	巻号	出版社	発行年
1	武井哲郎・矢野良晃・ 橋本あかね 編著	不登校の子どもとフリースクール —持 続可能な居場所づくりのために—		晃洋書房	2022
2	竹原幸太 著	立ち直り・廻りの教育福祉学 —少年司 法の軌跡と甦育—		成文堂	2022
3	佐久間孝正 著	顔のみえないデジタル社会 —戦場・生 殖・学校から人が消える—		東信堂	2022
4	ジョン・フィールド 著/ 佐藤智子・西塚孝平・松本 奈々子 訳/ 矢野裕俊 解説	社会関係資本 —現代社会の人脈・信頼・ コミュニティー—		明石書店	2022
5	孫美幸 著	ともに生きやすい社会って？ —わが家 の「師匠」たちと学ぶ—		解放出版社	2022
6	新井浩子 著	社会教育における生活記録の系譜		春風社	2023
7	平塚真樹 編/ 若者支援とユースワーク 研究会 著	ユースワークとしての若者支援 —場を つくる・場を描く—		大月書店	2023
8	齊藤ゆか 著	ボランティア評価学 —C U D B A Sを 用いた評価指標の設定と体系化—		ミネルヴァ 書房	2022
9	國本真吾 著	ライフワイドの視点で築く学びと育ち —障害のある子ども・青年の自分づくり と自分みがき—	日本標準ブ ックレット No.26	日本標準	2023
10	日本学童保育学会	学童保育	第 12 巻		2022
11	日本公民館学会	日本公民館学会年報	第 19 号		2022
12	筑波大学人間系教育学域	筑波大学 教育学系論集	第 47 巻 第 1 号		2022

※事務局受領 2023 年 2 月末分まで

会員動向

〈所属変更〉

山田 一隆（東海大学文理融合学部）

〈退会〉

（北陸東海ブロック） 水野 貴宏

（2022年12月～2023年2月受付分まで）

お知らせ・募集

●六月集会について

2023年度六月集会（6月3日（土）～4日（日）田園調布学園大学）の参加は、事前申込のみとなります。当日の参加受付はいたしません。金銭の授受もしませんので参加費も事前振込といたします。

また、コロナウィルスの感染状況次第では、オンライン開催となる可能性もありますので、必ず事前申込をしていただきますようお願いいたします。

《参加申込み》

学会HPの申込システムからの申込になります（学会HPに掲載のプログラムをお読みの上、お申込みください。）

参加費も事前振込になりますのでご注意ください。

申込み受付は、5月1日（月）～5月21日（日）です。

問合せ先：事務局アドレス
(jssace.office@gmail.com)

●第70回研究大会

自由研究発表・ラウンドテーブルの申込み

第70回研究大会は9月8日（金）～10日（日）オンラインにて開催される予定です。

《自由研究発表》

学会HPの申込システムからの申込になります（学会HPに掲載の要領をお読みの上、お申込みください）。

締め切りは6月10日（~~メ~~切厳守）です。

発表時間の指定およびお申込み後のキャンセルはご遠慮ください。

※＜大会参加申込み＞については、研究大会プログラムにてお知らせいたします（7月末頃HPに掲載予定）。

《ラウンドテーブル》

3日目 9月10日（日）13:00～15:00の予定

ラウンドテーブルを希望される会員は、以下の項目をご記入のうえ、メールにて事務局へお申し込みください。

①テーマ

②コーディネーター氏名・所属

③報告者氏名・所属

④内容（200字以内）ここに記載された内容は、原則、そのまま研究大会プログラム（7月末頃HPに掲載予定）に転載させていただきます。

⑤締め切りは6月30日（金）

※お申込みの際には、件名をラウンドテーブルとし、内容は添付ファイルにして下さい。

※送付先：事務局アドレス (jssace.office@gmail.com)

お知らせ・募集

●プロジェクト研究 新テーマ募集 (応募要領)

1. 本学会におけるプロジェクト研究の経緯・趣旨

プロジェクト研究は、日本社会教育学会において学会員主体の開かれた共同研究を進める重要な取り組みです。この研究では、社会教育が直面している重要な課題を研究テーマとして設定し、定例の研究会を持ちながら3年程度をかけて研究することを目的としています。

以前は、学会として組織的な研究活動を実施するために、理事会が設定した研究課題について「宿題研究」として進めてきました。2000年代に入ってから、学会員の多様な関心や問題意識を学会の組織的な研究活動に活かすために、また学会員の主体的参加を可能にするために、学会として取り組むに値する重要テーマを募集・採択し、広く学会員から運営メンバーを募りチームを組織し進める「プロジェクト研究」として、研究活動の推進と成果の共有化を図ることに変更され、今日に至っています。

上記を踏まえ、この度、2024年度から開始する新規プロジェクト研究テーマを以下の通り公募します。

2. 応募資格

- ・日本社会教育学会の会員であること。
- ・提案者は、個人・集団いずれも可能。ただし、テーマが採択された後には、研究チーム（以下、プロジェクト・メンバー）を組織することになります。なお、現在進行中の他のプロジェクト・メンバーが、新テーマのプロジェクト・メンバーになることは認められませんので、ご注意ください。

3. 応募条件

- ・広く会員で研究・討議するにふさわしい、社会教育に関する学術的テーマであることを選考基準とします。
- ・プロジェクト研究の期間は、3年間とします。
- ・採択された場合は、学会員からプロジェクト・メンバーを募り、6月集会・研究大会において、

プロジェクト研究企画を運営してください。また、定例研究会を公開で開催するなど、学会員に開かれたプロジェクト運営を図ってください。

- ・研究期間終了後、「『社会教育学研究』編集規程」に基づき『社会教育学研究』に研究成果を報告していただきます。
- ・応募に関する不明点や不安な点について、研究担当理事への事前相談を歓迎いたします。状況に応じて、研究担当理事は既存のプロジェクト研究の経験紹介や学会員間のコーディネート等の支援を行います。

4. 応募方法

応募を希望する者は、「日本社会教育学会プロジェクト研究 新テーマ提案書（様式あり）」を学会サイトから入手・作成の上、5月7日（日）までに日本社会教育学会事務局宛にメール添付で提出してください。

- 1) 提案者の氏名・所属（集団で提案する場合は、責任者を明記する）
- 2) 提案する研究テーマ
- 3) テーマ設定の趣旨
- 4) 研究推進に向けた検討課題・現段階での見通し

5. 選考・採択後のスケジュール

応募のあった研究テーマについて、提案書に基づき理事会で審査いたします。理事会での協議によっては、複数のテーマの統合やテーマ名の変更が提案されることもあります。また、理事会・総会への提案に向け、提案者と研究担当理事との間で協議の場が設けられる場合もあります。

結果は、総会において、採択されたプロジェクト研究として発表されます。採択された研究テーマの責任者は、提案者だけでなく広く会員にも公募の上プロジェクト・メンバーを組織していただき、理事会での承認をえたのち、2024年6月に予定される6月集会から研究企画を実施していただくこととなります。

照会・提出先：日本社会教育学会事務局
(jssace.office@gmail.com)

「学会からのお知らせ」

2023年 第1号（「学会通信」からの通号237号）

2023年4月26日発行

【発行】日本社会教育学会 事務局

〒189-0012 東京都東村山市萩山町2-6-10-1F

E-mail: jssace.office@gmail.com <https://www.jssace.jp/>

【編集】井上大樹・久井英輔・古里貴士・若園雄志郎（担当理事）、若原幸範（事務局長）

【レイアウト】市民活動サポートセンター・アンティ多摩 E-mail: auntytama@a-simin.sakura.ne.jp
